

回答者 メーカー 経理部IFRSプロジェクト 小林裕史

論点1 包括利益の表示

- (1) 包括利益を財務諸表に表示することに賛成ですか？

賛成

[理由]海外同業他社との比較ができないため/関係当事者が時価評価された実態を一覧的に判断するには適切/個別計算書(日本基準)と連結計算書(IFRS基準)で表示の差異があると利用者作成者が業務面および情報理解面で苦勞するため

反対(但し、IFRSも改訂するならば)

[理由]海外露出度が高い企業にとっては未実現利益によるボラティリティが高くなってしまふ/日本の決算短信における期末予想にその他包括利益を入れることに繋がる恐れがある

- (2) 包括利益を表示するとした場合、どの計算書に表示することが適切と考えますか？

1計算書から成る包括利益計算書

[理由]個別計算書(日本基準)と連結計算書(IFRS基準)で表示の差異があると利用者作成者が業務面および情報理解面で苦勞するため

2計算書から成る包括利益計算書

[理由]個別計算書(日本基準)は税務上も残り、理解しやすい/過去業績との比較可能性を重視して2計算書を導入するのが妥当

論点2 非継続事業に関連する損益の損益計算書における区分表示

- (3) 損益計算書上で、非継続事業に関連する損益を区分表示することに賛成ですか？

賛成

[理由]将来CF予測には1年以内に処分する事業にかかる影響を区分するのは望ましいため

反対

[理由]非継続事業の判断基準があいまいになる恐れがあるため/グルーピング判断も悩ましく業務上煩雑になるため/一定基準以上という重要性で判定するのが望ましい。

- (4) 非継続事業をどのように定義することが適切と考えますか？

最高意思決定機関で採決された事業および単位

[理由]経営が非継続事業と判断する規模やタイミングも投資家が企業を評価するひとつであるから。

- (5) 当期に新たに非継続事業に該当することとなった事業について、過年度の損益計算書でも非継続事業として遡及再表示すべきですか？

遡及再表示には反対

[理由]経営が非継続事業と判断する規模やタイミングも投資家が企業を評価するひとつであるから。/複数地域や複数事業からの撤退の場合、複雑となるため/作成の負担が増大するため

論点3 売却目的保有の非流動資産及び処分グループの貸借対照表における区分表示

- (6) 売却目的で保有する非流動資産及びグループを貸借対照表上で区分表示することに賛成ですか？

賛成

[理由]将来CF予測には1年以内に処分する事業にかかる影響を区分するのは望ましいため/影響度が軽微なものは対象としない処置や簡便表記併用が望ましい。

反対

[理由]実務上は売却廃棄の判断判定が処分時点まで明確でないものもあるため/一定基準以上という重要性で判定するのが望ましい

論点4 損益の段階表示

- (7) 損益の段階別表示について短期的に見直しが必要と考える点(具体的な段階損益)はありますか？

なし

[理由]経常利益は世界の中で一般的ではないため

あり 経常利益の表示

[理由]非継続事業の表示との兼ね合いですが、経営管理上要請される可能性はあるため。

*IASB及びIFASBのDPIは短期的な対応課題と中長期的な検討事項にASBJの論点整理の中で区分されています。中長期的な課題は現行の取り扱いが大きく変更される可能性の高い項目や、短期的に対応する必要性が乏しいと考えられる項目です。「A.財務諸表間の表示の一体性(設備投資支出など)」「B.事業および財務セクションの区分」「C.マネジメント・アプローチの有用性」「D.各セクションにおける資産・負債の純額表示」「E.事業セクション及び営業カテゴリーと投資カテゴリーの定義」「F.財務セクション及び財務資産・負債カテゴリーの定義」「G.収益及び費用項目の分解」「H.キャッシュフロー計算書の直接法による作成」「I.キャッシュフロー計算書と包括利益計算書との調整表」の9つの論点があります。“短期的に”とは2011年IAS1(またはIAS5)にかかる新たな会計基準の公表を目的にしたものと捉えて下さい。

論点5 損益項目の性質別開示

- (8) 損益項目の性質別開示を短期的に導入する必要があると考えますか？

あり

[理由]企業によって費用のもつ機能と内訳は異なり、投資家が競合他社比較できないため。/製造償却費や製造労務費を比較することで労働集約性や将来CFが予測できるため。/注記でも構わない。

論点6 貸借対照表における流動固定区分と表示科目

- (9) 貸借対照表における流動固定区分と表示科目について、短期的に見直しが必要と考える点はありますか？

なし

[理由]既に日本基準は十分な表示区分であり、これこそIFRSに進言するのが望ましい。

論点7 その他

- (10) 指定項目*の中で、短期的に見直しが必要と考えられる項目はありますか？

特に無し

[理由]

*「適正な表示」「離脱の定め」「継続企業の前提に関する注記」「重要性と合算」「表示方法」「報告の頻度」「比較情報」「表示の継続性」(ASBJ「財務諸表の表示に関する論点の整理」P33~37を参照下さい。)